

Solan Primary School  
4th grade news letter

# Venture Fourth

2023. Nov. 17

## 「分かる」から「出来る」へ

10/16

式と計算

コース料金 + パン料金 = 合計

$$120 + (90 \times 3)$$

①

$$120 + 270 = 390$$

答え 390円

② 1箱のケーキ (2×3)個

式  $60 \div (2 \times 3)$

①

$$60 \div 6 = 10$$

答え 10箱

③ りんごとおやつ  
(55 + 25)円

式  $400 \div (55 + 25)$

①

$$400 \div 80 = 5$$

答え 5組

④ 90円1冊が4冊  
(90 × 4)円

500円 - (90 × 4)円

①

$$500 - 360 = 140$$

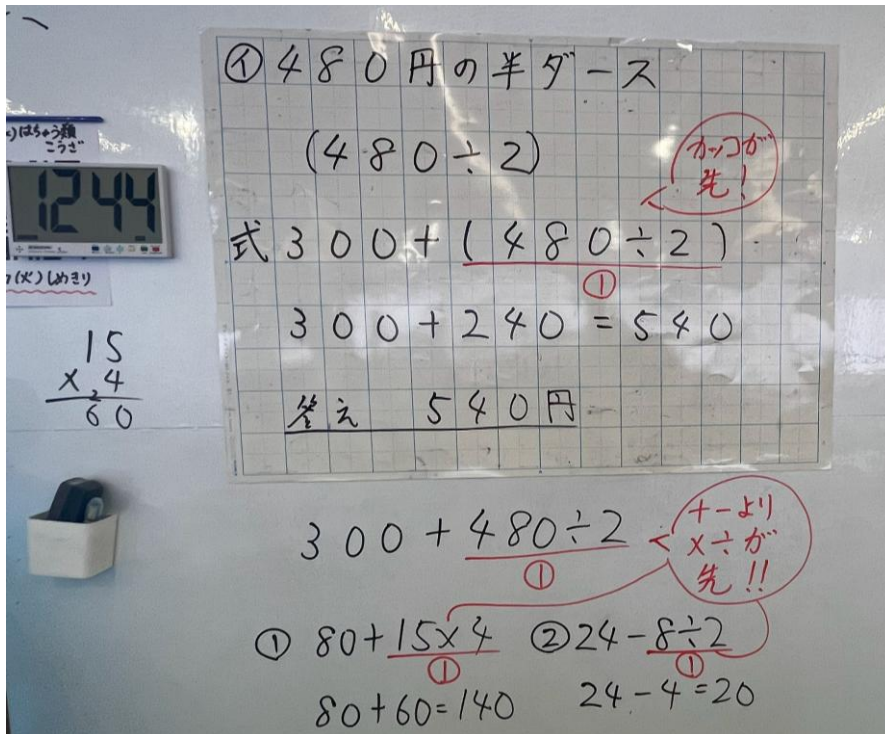
答え 140円

算数の授業は、「式と計算」に入りました。

ここの単元で学ぶのは、「計算のルール」です。

どこからどの順番で計算するということが理解できることが、メインのゴールです。

最初は、「かっこの計算が先」というルールを教えました。



その次に、「+-よりも×÷が先」というルールを教えました。  
これを、今スラスラ解けるところまで練習しているところです。  
算数は、「体育と同じ技能教科である」と言われます。

「分かった」から「できた」まで至るには、「反復」という名の習熟練習が  
欠かせません。

いくら泳ぎ方がわかったとしても、実際にプールの中で練習してみなければ  
いつまでも泳げないことと同じです。

逆上がりも、「どうすればいいか」はとてもシンプルですよね。

足を振り上げて、鉄棒に腰を乗せ、上半身を持ち上げればいいわけです。

でも、それができるようになるためには、基礎練習が必要ですし、基礎感  
覚を磨くことも大切ですし、何より毎日の継続練習が重要です。

今回の「式と計算」や少し前に習った「わり算のひっ算」も同じです。

仕組みややり方が「分かった」ところは、ファーストステップです。

その次の、セカンドステップが大切なのです。

それは「スラスラ解けるまで練習する」という段階です。

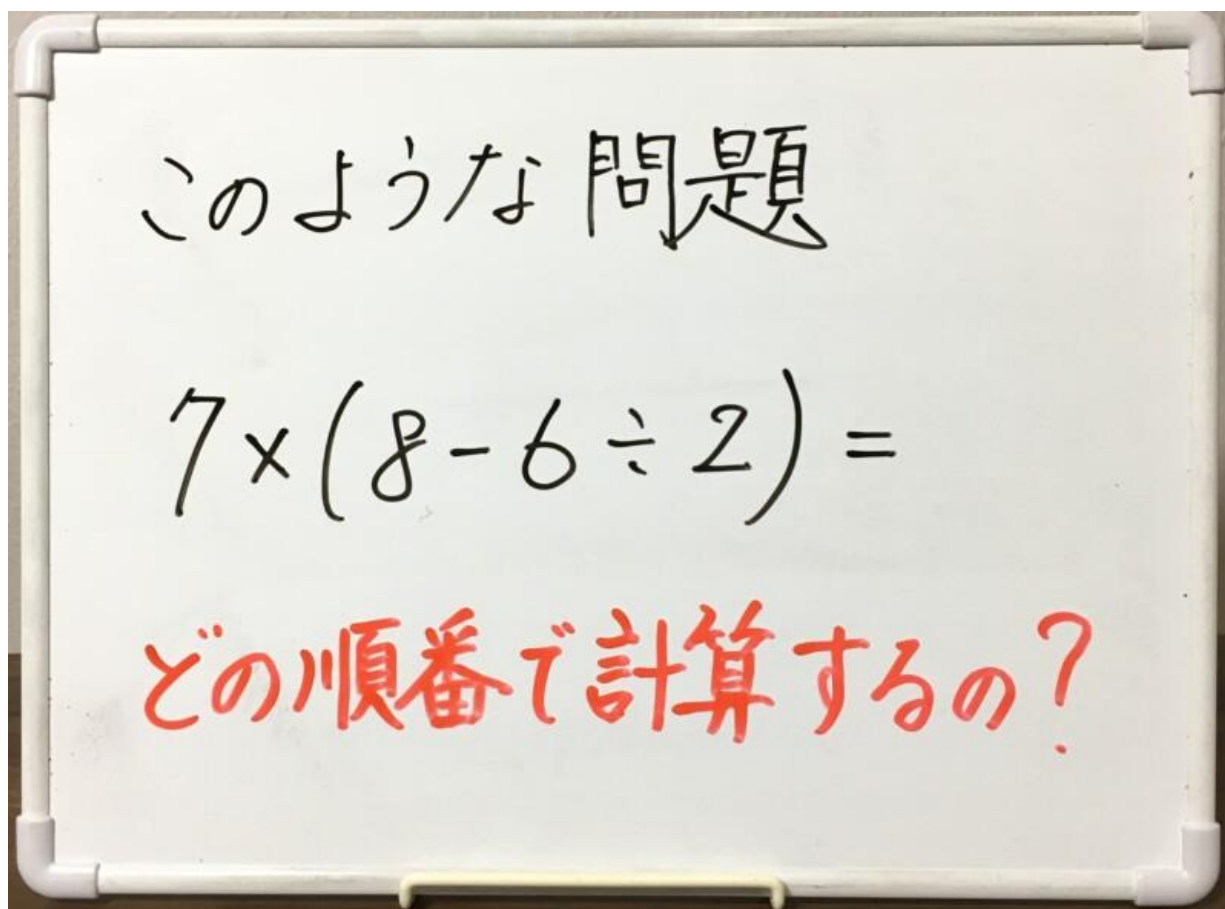
これを経て、ようやく「わかった」から「できた」の段階に到達するこ  
ができるわけですね。

今回の式と計算で学ぶルールも、すごくシンプルです。

でも、それを「一定のスピード」で「間違いなく解ける」段階まで行くた  
めに、繰り返し練習をするんです。

例えば、このような問題。

これを、スラスラ解けることを今回の目標としています。



そのために、まずは「分かる」段階を目指して少しずつ練習を重ねているところです。

- 最初に計算する部分に下線を引く。
- そこにナンバリングの目印をつける。
- なぜその順番なのかを一言で説明する。

こうした練習を繰り返す中で、次第に深く考えずとも条件反射的に問題が解けるようになっていきます。これが「できる」状態です。

「分かる」までの時間が人それぞれであるように、「できる」までにかかる時間も一人一人違います。

それぞれの成長のスピードを見守りながら、クラス全員の「分かる」「できる」を目指していきます。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

